



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月9日

上場会社名 福山通運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9075 URL <http://www.fukutsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小丸 成洋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理・財務担当 (氏名) 桑本 聡 TEL 084-924-2000
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	62,795	0.0	2,846	△8.7	3,420	△7.9	2,923	17.3
28年3月期第1四半期	62,791	1.6	3,118	30.0	3,714	29.2	2,492	48.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 439百万円 (△87.7%) 28年3月期第1四半期 3,584百万円 (27.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	11.87	—
28年3月期第1四半期	10.34	9.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	410,304	218,053	52.5	880.72
28年3月期	404,787	220,322	53.9	879.47

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 215,343百万円 28年3月期 218,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	125,600	0.3	5,800	△3.0	6,200	△9.1	5,100	7.9	20.89
通期	254,700	0.0	12,900	△1.8	13,700	△7.6	9,200	△7.2	37.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	278,851,815株	28年3月期	278,851,815株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	34,343,597株	28年3月期	30,702,965株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	246,377,231株	28年3月期1Q	241,163,790株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高や新興国経済の下振れから企業収益は悪化し、個人消費も名目賃金の伸び悩みから横ばいのまま推移するなど、依然として足踏み状態が続いてまいりました。

貨物自動車運送業界におきましては、国内貨物輸送量が景気動向を反映し、引き続き低水準で推移するなか、長時間労働の抑制など労働環境の改善、安全対策や環境問題等の社会的責任に対する取り組みなどが山積し厳しい経営環境下にありました。

このような状況のもと当社グループでは、全国ネットワーク網の拡充・整備を推し進めるなど、地域に根ざした営業活動と輸送サービスの向上に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は627億95百万円（前年同四半期比0.0%増）、営業利益は28億46百万円（前年同四半期比8.7%減）となり、経常利益は34億20百万円（前年同四半期比7.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億23百万円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

これらをセグメント別に見た営業の概況は次のとおりであります。

運送事業におきましては、小口商業荷物の掘り起こしに努め、正確な計量・計測による適正運賃の収受に取り組むとともに、顧客管理をはじめとする営業基盤の強化に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は551億99百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は27億55百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

流通加工事業におきましては、施設の拡充にあわせて新規顧客の開拓と既存のセンター運営の効率化に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は28億98百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は1億35百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

国際事業におきましては、中国をはじめとするアジア新興国の経済減速の影響を受け、誠に厳しい事態が続いております。

以上の結果、売上高は13億51百万円（前年同四半期比11.8%減）、営業利益は47百万円（前年同四半期比59.3%減）となりました。

その他事業におきましては、施設賃貸事業や商品販売事業が堅調な運びとなりました。

以上の結果、売上高は33億46百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は9億14百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

なお、5月31日、マレーシアに本社を置くシンガポール・タイ間でのクロスボーダー・トラック輸送に強みを持つ物流企業 E.H. Utara Holdings Sdn. Bhd. ほか4社をグループ化いたしました。これにより、東南アジア域内での一層の業容の拡大に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて55億16百万円増加し4,103億4百万円となりました。これは主に、流動資産のその他が増加したことなどにより流動資産が12億24百万円増加したことや、投資有価証券は減少しましたが建設仮勘定が増加したことなどにより固定資産が42億91百万円増加したことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて77億84百万円増加し1,922億50百万円となりました。これは主に繰延税金負債の減少などにより、固定負債が12億75百万円減少しましたが、流動負債のその他の増加により流動負債が90億59百万円増加したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて22億68百万円減少し2,180億53百万円となりました。これは主に自己株式が増加したことにより株主資本が3億12百万円減少したことや、その他有価証券評価差額金の減少などによりその他の包括利益累計額が25億82百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして、平成28年5月11日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間からE.H.Utara Holdings Sdn. Bhd. の株式を取得し、E.H.Utara Holdings Sdn. Bhd.、UFA Utara Forwarding Agency Sdn. Bhd.、Chalim Warehouse Sdn. Bhd. 及びE.H.Utara (Thailand) Co., Ltd. の4社を新たに連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,660	23,154
受取手形及び売掛金	33,990	32,850
繰延税金資産	1,984	2,514
その他	5,185	6,552
貸倒引当金	△62	△89
流動資産合計	63,758	64,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	216,587	217,200
減価償却累計額	△140,466	△141,670
建物及び構築物 (純額)	76,120	75,530
機械装置及び運搬具	70,447	73,383
減価償却累計額	△56,682	△58,548
機械装置及び運搬具 (純額)	13,765	14,834
工具、器具及び備品	13,229	13,175
減価償却累計額	△10,761	△10,841
工具、器具及び備品 (純額)	2,468	2,334
土地	189,541	190,487
建設仮勘定	11,048	17,531
有形固定資産合計	292,943	300,718
無形固定資産		
その他	5,314	5,582
無形固定資産合計	5,314	5,582
投資その他の資産		
投資有価証券	37,262	33,530
繰延税金資産	1,931	1,982
その他	4,254	4,129
貸倒引当金	△675	△622
投資その他の資産合計	42,772	39,019
固定資産合計	341,029	345,321
資産合計	404,787	410,304

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,888	15,044
短期借入金	10,400	10,734
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	11,320	11,320
1年内返済予定の長期借入金	13,101	13,547
リース債務	56	50
未払法人税等	2,985	2,227
未払消費税等	1,537	2,494
繰延税金負債	14	2
賞与引当金	3,063	1,106
再開発費用引当金	1,866	1,866
資産除去債務	51	—
その他	11,833	22,785
流動負債合計	72,120	81,180
固定負債		
長期借入金	58,679	58,021
リース債務	145	133
繰延税金負債	7,466	6,522
再評価に係る繰延税金負債	23,689	23,688
退職給付に係る負債	20,837	21,071
資産除去債務	483	485
その他	1,042	1,146
固定負債合計	112,344	111,069
負債合計	184,465	192,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	38,515	38,515
利益剰余金	117,435	119,121
自己株式	△14,327	△16,325
株主資本合計	171,934	171,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,077	10,430
土地再評価差額金	34,399	34,396
為替換算調整勘定	96	66
退職給付に係る調整累計額	△1,269	△1,170
その他の包括利益累計額合計	46,304	43,722
非支配株主持分	2,083	2,710
純資産合計	220,322	218,053
負債純資産合計	404,787	410,304

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	62,791	62,795
売上原価	57,939	57,953
売上総利益	4,852	4,841
販売費及び一般管理費	1,734	1,995
営業利益	3,118	2,846
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	548	518
その他	173	182
営業外収益合計	721	701
営業外費用		
支払利息	75	66
金利スワップ評価損	—	14
その他	49	45
営業外費用合計	125	126
経常利益	3,714	3,420
特別利益		
固定資産売却益	11	218
投資有価証券売却益	—	705
特別利益合計	11	924
特別損失		
固定資産除却損	26	11
減損損失	39	23
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	66	35
税金等調整前四半期純利益	3,659	4,309
法人税、住民税及び事業税	1,721	1,959
法人税等調整額	△604	△678
法人税等合計	1,116	1,280
四半期純利益	2,543	3,029
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,492	2,923
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	982	△2,655
為替換算調整勘定	△0	△32
退職給付に係る調整額	59	98
その他の包括利益合計	1,041	△2,589
四半期包括利益	3,584	439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,533	344
非支配株主に係る四半期包括利益	51	95

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,148	2,836	1,532	59,517	3,273	62,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	2,078	2,078
計	55,148	2,836	1,532	59,517	5,352	64,869
セグメント利益	2,863	130	116	3,110	909	4,019

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,110
「その他」の区分の利益	909
全社費用(注)	△901
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,118

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。

なお、報告セグメント以外の減損損失の計上額は39百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,199	2,898	1,351	59,449	3,346	62,795
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	2,012	2,012
計	55,199	2,898	1,351	59,449	5,358	64,807
セグメント利益	2,755	135	47	2,938	914	3,853

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,938
「その他」の区分の利益	914
全社費用(注)	△1,007
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,846

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。

なお、報告セグメント以外の減損損失の計上額は23百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「国際事業」セグメントにおいて、E.H.Utara Holdings Sdn.Bhd.の株式を取得し、E.H.Utara Holdings Sdn.Bhd.、UFA Utara Forwarding Agency Sdn.Bhd.、Chalim Warehouse Sdn.Bhd.及びE.H.Utara (Thailand) Co.,Ltd.を当社の連結子会社としたことにより、のれんが539百万円増加しております。